

緬羊の飼育状況については、今年の出生子羊140頭のうちラム肉用95頭とし、残り45頭は来年のホゲット用と繁殖育成用に向ける予定であります。今年度の屠畜頭数は、ラム用95頭、ホゲット用13頭、マトン用10頭を予定しております。

首都圏での消費は、回復の兆しはあるものの厳しい状況であることに変わりはありません。出荷に向けては、卸業者との打合せを重ねつつ、町内での消費拡大、首都圏以外での新規取引先の開拓などを視野に入れ「白神ラム」の販路拡大に向け、卸業者、加工センターとの連携を図ってまいります。

新規就農者による緬羊飼育は4年目となります。子羊の出生、生育、出荷も順調のようであります。今回の補正予算へ緬羊素畜導入費補助金を計上させていただいております。今後も、安定した事業として確立できるよう、必要に応じて支援をしてまいります。

◆鳥獣被害対策について

昨年度、異常出沒となったツキノワグマは、今年度は比較的落ち着いているようであり、7月から運用が開始された秋田県独自の情報システムである「ツキノワグマ等情報マップシステム」通称「クマダス」へ寄せられた出沒情報は、当町では9月10日現在で5件であり、捕獲頭数も昨年の同時期27頭に比して4頭と、7分の1の数となっております。

しかしながら、カキ、クリ等の果樹が熟する時期となれば、昨年度のような居住区への出沒が予想されることから、去

る8月23日には能代警察署の主導により、「ツキノワグマ出沒対応合同訓練」を実施し、警察、猟友会、町がスムーズな連携ができるよう、現場訓練並びに情報交換をしたところでございます。

今年度は、はこ罾も3基新造しておりますので、万全の態勢で臨むべく準備をしております。

ニホンザルにつきましては、例年同様、猟友会の巡視を実施しながら、町民の方々の情報をもとに、カカシ・はこ罾の設置を滞りなく行なっております。捕獲頭数は9月10日現在で3頭ではあります。捕獲ができる限りの対応はしております。

今年度は、イノシシの出沒情報が異常に多く寄せられております。単独ではなく、つがいや子連れなど、複数頭での出沒が多いようです。

農作物への被害も、中干し中の水田への侵入や、畑や畔、農道脇の掘り起こしなど、作物の被害よりも、圃場、農業施設への被害が多いようです。捕獲実績は今のところございませんが、7月には、はこ罾を1基購入しており、さらに2基を新たに購入する予算を今回の補正予算に計上させていただき、町民の方からの畑作物への被害防止に施す電気柵等の購入相談も複数件あることから、これについての補助事業も対応できるように、予算を計上させていただきましたので、よろしくお願い申し上げます。

◆教育旅行・インバウンドについて

以前より、当町での人材育成を図る上

で、藤里らしさを活かした「藤里学園」の更なるプログラムの充実を考えておりました。具体的には世界自然遺産白神山地の特徴を活かし、国際的視野と地域愛着の醸成に相乗効果を上げるものとして、

国際交流の場を展開したいと考えております。ご承知のとおり、藤里学園の特徴は、外国語教育、郷土を学び、貢献する町づくり学、そして1年生から9年生までの多様な学年が共に学ぶということにあります。ここに新たな国際交流を加えることで、これまで不足していた異文化の方々とのグローバルなコミュニケーションを深め、藤里町に暮らしながら、改めて地域の見識を深めることが可能となります。残念ながら、これまでは学校単位での国際交流をする上で相手先を訪問しての関係性作りや諸々の調整も必要であり、可能性を検討する段階に留まっておりました。ここにきて学校単位での招聘を模索する中でタイ王国に在住するバンコク秋田県人会の菊地久夫会長がバンコクの学校と日本との仲介役であり、秋田県内での教育交流においても、これまで由利本荘市、仙北市、美郷町での実施に尽力されているとのこと。そのような中で、さらに他の秋田の里山体験にも興味があるとの情報を得ることができました。このような中、11月、県の事業として「令和6年タイトップセールス及び秋田タイ友好協会10周年記念事業」が開催されることもあり、幸いにも菊地会長がこの8月に秋田に帰国しているという情報を得て、8月16日、北都銀行本部でお時間をいただき、意見交換をすることができました。訪問の折は、菊地会長よりバンコ

ク市内の勉学が盛んな学校関係者にお繋ぎいただける旨も、承諾いただいたところであります。

現時点で秋田県からは、知事をはじめ、県・市町村、友好協会関係者、約100名が参加予定となっております。10周年式典も相まって、タイ王国においても秋田との交流における重要な関係者が一同に会する場になる模様です。学校関係者のみならず、旅行事業者も参加するため、情報発信や関係性づくりの絶好の機会となっております。この機会を活かして、当町における国際交流を活発化させ、また将来的な教育旅行の誘致や学園生徒の多様性を育む場の創出へとつなげていきたいと考えておりますので、何卒ご承知おき願いたいと存じます。

参考ではあります。交流を目指す学校は、唯一の王立の小中高一貫校や、160年以上の歴史を持つタイ最古の学校などでありまして、同学校を卒業した生徒は王国でも中心的な活躍をする人材を輩出しているとのことでもあります。

主な議案内容

- ◎財政健全化判断比率について
- ◎公営企業の資金不足比率について
- ◎専決処分した令和6年度藤里町一般会計補正予算（第4号）の承認について
- ◎藤里町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- ◎藤里町下水道条例の一部を改正する条例の制定について